

高松市郷東第1排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>本市では、昭和8年から下水道事業に着手し、約88年が経過している。うち、郷東第1排水区においては、郷東ポンプ場が平成5年の供用開始から28年が経過しており、施設の老朽化が進行している。これら施設・設備について、適切な機能確保を図り、浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：42.5 mm/h (7年確率降雨) ・目標とする理由：本市下水道事業計画における計画降雨強度であり、かつ、平成16年10月に高松市で記録した最大降雨 42.5 mm/h ・ハード整備による整備水準の目標：42.5 mm/h (7年確率降雨) <p>② 目標設定</p> <p>老朽化した雨水ポンプ場施設の改築を行うことにより、施設の機能停止による浸水リスクを解消し、家屋の浸水を防止する。</p> <p>i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する災害時要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。</p> <p>ii) 都市機能の確保の観点：整備水準内での降雨を適切に排除し、道路交通を始めとする都市機能を確保する。</p> <p>iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</p> <p>③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i) ハード対策</p> <p>施設整備により 42.5 mm/h (7年確率) の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。</p> <p>ii) ソフト対策及び自助</p> <p>ハード整備における、降雨強度 42.5 mm/h を上回る降雨に対応するため、ソフト対策として、市の防災担当課において既に策定している内水ハザードマップや河川水位観測データなどを情報提供するとともに、市民の自助として、土のうの設置や自主避難訓練の実施により、物的・人的被害の縮小を図る。</p>

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成26年7月策定済み) ・ 策定予定 (令和 年 月末策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水ポンプ場設備改築 (排水能力: 846 m³/min) ・ 沈砂池機械設備 (細目除じん機 3基、し渣搬出機 3基、し渣ホッパ 1基、流入ゲート 1門、放流ゲート 2門、バイパスゲート 2門、排水ポンプ 2台、雨水ポンプ吐出弁 2台) ・ 電気設備 (受変電設備、自家発電設備、制御電源設備、監視制御設備、負荷設備、計測設備)
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内水ハザードマップの作成・公表 ・ 河川水位観測情報の提供 (高松市危機管理課)
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 土のうの設置 (高松市河港課による資材提供) ・ 自主避難訓練 (地域コミュニティ)

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画 (百万円)

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
郷東ポンプ場	210	192	850	1,252
計	210	192	850	1,252

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額 (事業費) を記述。

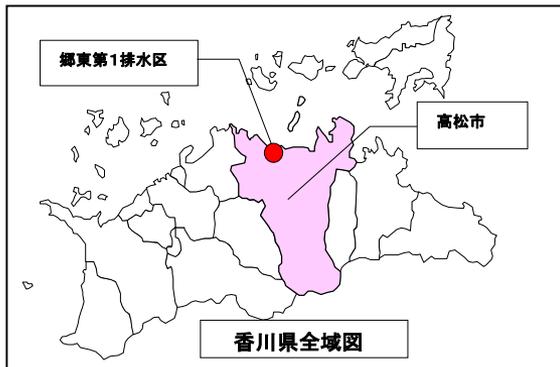
整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷東ポンプ場における沈砂池設備及び電気設備の改築により雨水排水機能を適切に確保する。(降雨強度 42.5mm/h、7年確率降雨) ・ ソフト対策, 自助の整備効果等: ソフト対策(内水ハザードマップや河川水位観測データなどの情報提供)と、市民の自助(土のうの設置や自主避難訓練の実施等)を適切に行うことで、浸水被害を防止する。
放流先河川との調整状況	放流先は備讃瀬戸海域であり、該当なし。
その他	

高松市郷東第1排水区 大規模雨水処理施設整備事業

- 本排水区は香東川と本津川に挟まれた地区で、河川周辺で低地となっている箇所があり、平成16年の台風23号時には強い降雨(最大1時間降雨42.5mm/h)が長期にわたったことで浸水時間が長期化し、道路冠水箇所が発生した。
- 郷東ポンプ場は供用開始から28年が経過しており、沈砂池設備の経年劣化、電気設備の耐用年数経過による施設の老朽化が進行しており、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
- ポンプ場設備の改築により雨水排水機能を適切に確保し、概ね7年に1回程度起こりうる降雨に対する浸水被害を防止する。

位置図



事業の効果

- ・概ね7年に1回程度発生すると考えられる降雨による浸水被害を防止する。
- ・浸水被害が軽減されることにより、区域内の生活環境の改善を図るとともに、新規企業立地、新市街地の形成など地域活性化に寄与する。

事業概要

- 事業内容:
雨水ポンプ場改築 1箇所
(沈砂池機械設備、電気設備)
- 全体事業費:
約12.6億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間:
令和4年度～令和6年度

- ・ポンプ施設
計画期間内施工予定 **赤**
- ・雨水管きよ
施工済 **茶**
- ・計画対象区域界 **桃**

